

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホームありすの杜きこ南麻布	施設番号	K-316
-----	---------------------	------	-------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和6年度)	改善計画 (令和6年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和7年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があった場合の実施状況 (年4月30日時点)
について	フロア管理者の活用をさらに進めるためにも、業務の効率化を通じてマネジメント業務に注力できる体制づくりを進めていく	フロア管理者のマネジメント業務を妨げている一番の原因は、ユニットの人員不足による勤務の応援が挙げられる。管轄する4ユニットのうち、それぞれ1ユニット程度が欠員している。早急に補充するためにも採用活動をフォローしてくれる業者と業務委託し、他との差別化を図っていく。	① 実施済み 2 実施予定 (R7年 1月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 コンサルティング会社と契約を結び、原稿作成や掲載、運用までのサポート体制ができた。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
について	より積極的な情報発信により、家族との情報共有がより図られるよう工夫していく	情報発信の媒体はホームページや SNS が挙げられる。ただし、個人情報に配慮しなくてはならず、まずはアナログではあるが居室担当者から日々の様子を手紙で伝えていくことから始めていく SNS の活用は今後の目標としたい。	1 実施済み ② 実施予定 (R7年 7月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 少なくとも3か月に1回は担当の利用者に関して日々の様子を手紙に書き、ご家族へ郵送する。	① 実施済み (R7年 7月) 具体的には以下のとおりです。 ユニットによって回数のばらつきはあるものの、担当利用者についての様子を手紙またはメールでご家族へ伝えることができた。
について	利用者の個別の希望をくみ取り、外出を通じてリフレッシュの機会を提供していく	利用者の個別の希望に応じていく取り組みは、コロナ禍前の状態に戻りつつある。しかし、利用者全ての方の希望が叶えられてはならず、職員のコミュニケーションが問われている。今年度は希望を聞き取る月間を作り、希望を把握し実践していく。 職員も楽しめる時間を共有し仕事に対するモチベーションを上げていきたい。	1 実施済み ② 実施予定 (R7年 7月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 七夕と掛け合わせ、「やりたいこと」「行ってみたいところ」などを短冊に書いてもらうことも一つの選択肢とする。	① 実施済み (R7年 7月) 具体的には以下のとおりです。 七夕の短冊に希望を書いてもらうだけではなく、日々の何気ない会話からニーズをくみ取っていたユニットも多くあった。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。